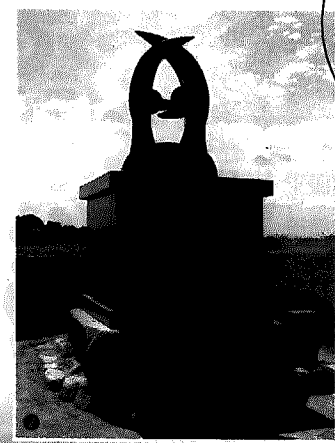


.....
 潟東村で、2つの魅力的なイベントを見学した村左エ門。ついで訪れたのは潟東村のお隣の市町村である月潟村。月潟村は、全国に知られる角兵衛獅子のふるさとです。この角兵衛獅子とは、一体どのようなものなのでしょう。また、月潟村は梨の栽培が盛んで、8月中旬から12月頃にかけて、さまざまな種類の梨が収穫されます。月潟村からは、この角兵衛獅子と月潟梨を紹介しましょう。



■月潟村
 人口 3,831人
 男 1,882人
 女 1,949人
 (平成12年国勢調査)



■潟東村
 人口 6,454人
 男 3,121人
 女 3,333人
 (平成12年国勢調査)



- 月潟村の伝統芸能として受け継がれている角兵衛獅子の舞い
- 角兵衛獅子の別名は越後獅子で、故郷空ひばりさんが昭和26年に歌った「越後獅子の唄」の原曲
- 全国に発送している月潟村の梨の味は折紙つぎ



江戸時代には、春の風物詩として大人気だった角兵衛獅子。その由来は、水害による飢饉の口減らし、角内・角助兄弟による父角兵衛の仇討ちとも伝えられています。現在は、角兵衛獅子保存会により、月潟村の伝統芸能として受け継がれ、月潟まつり(6月)や角兵衛獅子の舞(9月)のときにその勇姿を見ることが出来ます。梨は、月潟村を代表する特産品で、幸水、豊水、二十世紀、新高、新興など種類も豊富で、贈答用梨として人気の高いル・レクチェの栽培も増えてきています。村左エ門の合併市町村巡りも、残すは新津市と亀田町。果たして村左エ門は、無事旅を終えることができるのだろうか？

つづく

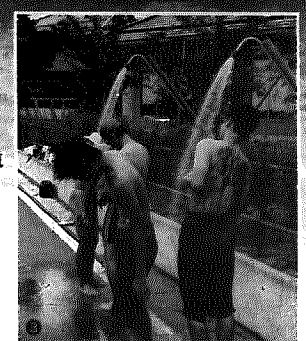
.....
 村左エ門が行く自由気ままな旅「合併旅日記」も残すは4市町村になりました。今月もラストスタートをかけ、一気に3つの市町村を紹介しましょう。まず、最初に訪れたのは潟東村。真夏の8月に「泥んこカップ」というイベントが開催され、また、今月5日には、地元潟東村で獲れたカモを使った「かもん!カモねぎまつり」も行われます。潟東村からは、この2つの魅力的なイベントを見学してみましょう。



合併旅日記
 潟東村左エ門が行く「シリーズ」



- 人が実際のカモになって行うカモ猟の実演
- 300円でカモ汁、ご飯、漬物のセットは大人気。当日券は、先着800食分です
- 戦いを終えた後のシャワーは最高!
- ボールを打つたびに熱くなる泥んこラリー



潟東村の夏の恒例イベント「おまつり広場」の一環として行われる「泥んこカップ」。このイベントでは、泥んこラリーや尻相撲などが行われ、田んぼの中の熱い戦いに、村内外から訪れる大勢の観客から拍手と歓声がこだまします。「かもん!カモねぎまつり」は、潟東村でとれた米や野菜、農産加工品などを販売するイベントです。中でも、地元でとれたカモを使ったアツアツのカモ汁は大人気。そのほか、カモ猟の実演やもちつき、フリーマーケットなど内容盛りだくさんです。

●かもん!カモねぎまつり
 お問い合わせ
 潟東村役場産業課
 ☎86-3111

